

9月17日のウクライナ情報

安齋育郎

① 【9/15 ロシア・ウクライナ紛争】長距離ミサイルの許可は、NATO 参戦！（2024年9月15日） ※日本語ナレーションあり

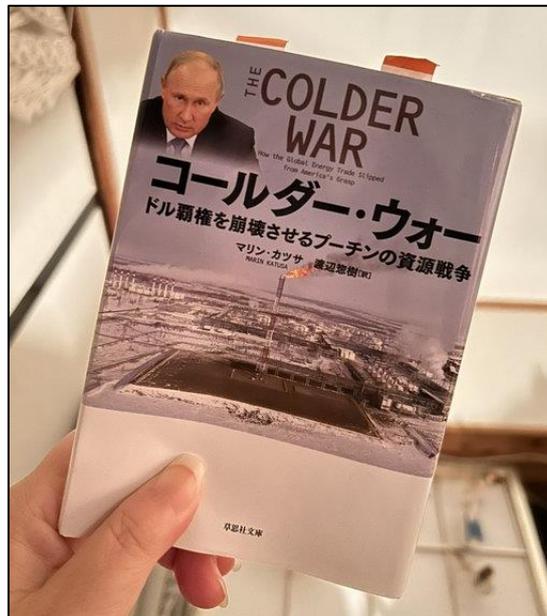
<https://youtu.be/ZUOzp6NbrYc>



<https://www.youtube.com/watch?v=ZUOzp6NbrYc>

② コールド・ウォー(2024年9月15日)

ウクライナへの特別軍事作戦、BRICS も全部繋がってますよね。プーチン大統領は歴史に残る政治家だと思います。



<https://x.com/k9h91GYEFP40132/status/1834978843033321521?s=09>

③ 権威主義の独裁者？ とんでもない(2024年9月15日)

この数字は、西側諸国がプーチン大統領を恐れ憎む理由を正確に示している。彼らは、自分たちがコントロ

ールできる弱体化したロシアを期待していたが、その代わりに、独立した内政・外交政策を堅持する指導者を擁する、強くて経済的に弾力性のある国家を手に入れたのだ。プーチンのロシアは彼らの意のままにならない。



<https://x.com/Z58633894/status/1834975435836604804?s=09>

④英米会談(2024年9月14日)

プーチン大統領はその場合「NATOが戦争に直接参加したと見なす」と警告する中、ウクライナに供与の長距離兵器の使用制限緩和をアメリカのバイデン大統領とイギリスのスターマー首相が協議。この2カ国はロシア中央銀行の凍結資産をウクライナの軍事費用に充てることも提案している。



<https://x.com/BABYLONBU5TER/status/1834871023906570533>

⑤宇宙空間で起きていること(2024年9月14日)

ロシアの補給船、故障で帰還不能となるアメリカ人飛行士の為に、2.8トンの物資を国際宇宙ステーションにお届け。

はい。感動エピソードはもちろん、ニュースにすらなりません。

ロシア補給船「プログレス」、ISS に到着-食料や備品など 2.8 トンを運ぶ(UchuBiz)



<https://x.com/OfficeChael/status/1834872651703369778?s=09>

⑥米、ロシア政府系メディア「RT」に制裁 「諜報機関のように機能」(By Simon Lewis, 2024年9月14日)

[ワシントン 13日 ロイター] - 米バイデン政権は13日、ロシア国営対外発信メディア「RT」に関連する3団体と2個人に対する制裁措置を科した。

ブリンケン国務長官は制裁発表にあたり、RTの活動を各国は秘密諜報活動と同様に扱わなくてはならないと指摘。RTはメディアの枠を超え、機密情報などを扱う活動を国外で行っているとし、ロシアのメディアは事実上「諜報機関の一部門のように機能している」と述べた。

その上で、ロシア政府が支援するメディアは米国の民主主義の弱体化に向け水面下で影響力を行使しているだけでなく、世界各国の主権問題にも干渉しているとの認識を示した。

この件に関してワシントンの在米ロシア大使館からコメントは得られていない。

<https://jp.reuters.com/world/ukraine/BU472QM64FLMDPEP2BPDWE3B2Y-2024-09-13/>

〈関連情報〉

西側のプロパガンダを暴くロシア・メディア、米国の脅威に=イラン政治学者(2024年9月14日)

政治学者であり国際関係分野の専門家であるルホツラ・モダバー氏は、RT に対する米国の攻撃に

ついてスプートニクの取材で次のようにコメントした。

「米国は、ロシア・メディア、特に RT とスプートニクが情勢を的確に報道し、西側の偽りに満ちたプロパガンダに対抗する上で重要な役割を果たしていることを認識しています。世界中の人々が真実を知ろうとして、ロシア・メディアに目を向けています。RT とスプートニクの周りには巨大なオーディエンスが集まったのです」

「同時に、西側のマスコミは失敗しています。検閲を利用することで異なる現実を見せようとしているからです。ロシア・メディアは、情報空間における米国と欧州のヘゲモニーに対し、再び勝利を収めました」

米財務省は、露メディアグループ「ロシア・セヴォードニャ」(スプートニクの親会社)との間であらゆる財務取引を整理して終了する期限を 11 月 13 日と定めた。また、同社のキセリョフ CEO に対して制裁を発動した。

https://sputniknews.jp/20240914/19089100.html?rcmd_alg=collaboration2

⑦ロシアから資金提供を受けた「右派系 YouTube チャンネル」が配信停止に(2024年9月9日)



YouTube は 9 月 5 日、右派インフルエンサーのティム・プールやベニー・ジョンソンが出演する番組を配信していた Tenet Media(テネット・メディア)と関連のある複数のチャンネルを削除した。これらのチャンネルは、ロシアからの資金提供を受けていたと米司法省は起訴状で指摘した。

テネットの YouTube チャンネルは、削除される前に約 32 万人の登録者を抱えていた。同社のウェブサイトは、今も公開中で、プールやジョンソンに加えてデイブ・ルービンやローレン・サザン、テイラー・ハンセン、マット・クリスチャンセンなどの名前が掲載されているが、これらのインフルエンサーの多くは現在は、同社から距離を置いている。

TikTok や X(旧ツイッター)、インスタグラム、フェイスブック上にあるテネットのアカウントもまだ

公開中ではあるが、5 日以降の投稿は途絶えている。

YouTube の広報担当者は、メールでの声明で、プラットフォームへの「影響工作との闘い」の一環として、テネットのチャンネル及び同社のオーナーであるローレン・チェンが運営する 4 つのチャンネルの掲載を終了したと発表した。

司法省は、起訴状にチェンの名前を記載しておらず、「創設者 1」と「創設者 2」として言及しているのみだが、ワシントン・ポスト紙によると、テネットの企業記録には、彼女と彼女の夫のリアム・ドノバンが創設者として記載されている。

カナダ国籍のチェンもまた著名な右派のインフルエンサーで、50 万人以上の登録者を持つ YouTube チャンネルを運営していた。彼女はまた、元 FOX ニュースのグレン・ベックが設立した保守系メディア企業 Blaze Media のために 2 つの番組を制作していたが、Blaze Media は、司法省の起訴状が公表された後に彼女との関係を絶ったと CNN に語った。

司法省は 4 日の起訴状で、ロシア政府が「テネシー州に拠点を置くオンラインコンテンツ制作会社」に秘密裏に 1000 万ドル(約 14 億 3000 万円)の資金提供を行ったと非難した。この会社の名前は、起訴状に記載されていなかったが、後にテネット・メディアだと報じられた。

司法省によるとこの資金提供は、「SNS 上で親ロシアのプロパガンダと偽情報を広めるためのロシア政府の影響工作」の一環で、ロシア国営メディアの 2 人の従業員によって行われたという。テネットは、米国の世論を分断することを目的とした英語の動画を様々なプラットフォーム向けに製作するように命じられていたとされる。

しかし、司法省は、テネットの番組に出演した右派のインフルエンサーたちを非難しておらず、彼らが同社の創設者とロシアの工作員に欺かれたことを示唆した。その後、これらの右派の人物らは、ロシアの関与を認識していなかったと語り、自身がこのスキームの「被害者」だと主張してテネットから距離を置いている。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3df222558a269eccb78f172a1b1d48ea604e4cd0/images/000>

⑧ グルジアでカラー革命を推進する米国-EU 資産(キット・クラレンベルク、2024 年 5 月 26 日)

グルジアでは 25,000 以上の NGO が活動しており、そのほとんどがヨーロッパと米国からの資金提供に依存しています。欧米の干渉を支配することを狙った新たな法案は、ワシントンが明確に奨励した猛烈な反政府抗議行動を引き起こした。

グルジアの首都トビリシには暗い政治的雰囲気渦巻いており、日に日に不吉さを増しています。イラクリ・コバヒゼ首相されている EU 委員から、彼はロバート・フィコの運命に苦しむだろうと告げられ、スロバキアの指導者はまだ彼の命のために戦っています。暗殺未遂ウクライナのプロキシ戦争ウルトラによって。米国の議員は制裁への移行与党「グルジアの夢」党员と、5 月 14 日の国会では、野党のタコ・チャルクヴィアーニ議員が出席した脅かさ「信じてください、グルジアではカラー革命が起こるでしょう。」

この騒動の原因は、組織に外国資金の公開を強制する「外国影響透明性法」として知られる法案です。何週間もの間、トビリシの街路は、当局に法律を放棄するよう要求する何万人もの抗議者で埋め

尽くされており、彼らはそれがグルジアの EU 加盟への道を危うくすると考えている。EU からの激しい非難にもかかわらず、米国当局者、法案は可決されました。それ以来、米国は法案を支持した議員にビザ制限を課すと脅しており、抗議者たちは諦める気配を見せていない。

トビリシの公共空間を占拠し続けている市民の誠実さは、本国政府の行動がグルジアの EU の野望を妨害することを恐れて、疑う余地はない。しかし、多くの人々が新しい法律の性質についてひどく誤解しているという明確な兆候があります。伝えそれは、大規模な監視を義務付け、国民に隣人を「外国の代理人」として非難するよう強いると確信している。

この法案についてグルジア国民に誤った情報を伝えようとする動きは、主に外国メディアや外国が資金提供する NGO 自身が主導している。現在、グルジアでは 2 万 5000 以上の NGO が活動しており、そのほとんどが外国からの資金提供を受けている。多くは EU から資金提供を受けています。どの財政 130 以上の個別の「アクティブなプロジェクト」と 19,000 以上のプロジェクト中小規模国内の企業。アメリカの諜報機関の切り抜きである USAID と CIA のフロント NED も、このセクターの著名な支援者である。

これら外国が支援する分子が共に、政府を打倒し、ブリュッセルとワシントンの権益に合致するものに置き換えることを最終的に狙った新たな抗議行動のために、有権者を街頭に動員している。



上:政府が提案した「外国影響透明化法」に抗議して、米国とウクライナの国旗を振るグルジア人。ラミ・ヤヒアによるビデオ。

欧米が資金提供する NGO・工業団地

おおくの外資系 NGO は、グルジアを EU、NATO、その他の“ヨーロッパ-大西洋”構造に統合することに明確に関心を持っている。その中には、恥ずかしい運動これは、トビリシでの最近の騒乱の最前線にいます。NED グラントレコードは、2021 年に「地域の若者活動家を巻き込む」ことで 8 万ドル弱を受け取り、ジョージア州の若者が政治的な「課題」に取り組み、「政府の説明責任」を提唱するのを支援したことを示しています。

奇妙なことに、恥ずべき運動がその年に「グルジア議会の民主的な説明責任と効果的な監視を促進

するため」に 90,000 ドル以上を受け取ったことを示す NED の項目は削除された。同団体は、「全国会議員の投票と発言を追跡し、この情報の詳細を記載したオンラインプロフィールを維持する」責任を負っていると指摘した。このイニシアチブは、西側の観点から「間違っ」方法で投票する国会議員の「ヒットリスト」を作成することに最終的に関係していたのでしょうか？

恥ずべき運動は、2023 年にジョージアンドリームが実装を試みましたが「外国の影響の透明性」法に匹敵する法律は、大規模で暴力的な群衆が脅迫した後、降伏するだけだった議会を蹂躪する、同様に、西側の当局者からの容赦ない敵対的なブロードサイドによってサウンドトラックされたシーン。

ウォールストリートジャーナル 報告 当時、組織による政府に対する嫌悪感は極めて明確で、Shame Movement のスポークスマンが、グルジア・ドリームを「国をロシアに近づけ、EU から遠ざけることを狙った」クレムリンの代理人と表現したことを引用した。彼らは、政府が「親ロシアで、反 EU 統合だと言うことはできない。なぜなら、彼らは国民から大量の反発を受けるだろうから、彼らは我々をゆっくりと蛙のように煮詰めようとしているからだ。彼らはグルジアの EU 統合プロセスを妨害するために、できる限りのことをしようと、やっている。

国内外で、グルジアの夢がロシアの権益に奉仕している、あるいは何らかの形でクレムリンの手先であるという欧米のプロパガンダ路線は、反「外国の影響透明性」デモが勃発して以来、ますます頻繁に繰り返されている。これに反する証拠は、欧米の世論形成者によって即座に無視され、影響力のあるワシントン DC を拠点とする外交政策シンクタンク、カーネギー基金は、削除詳細報告それは、告発を包括的に否定した。

実際には、グルジアの夢は 2012 年に大統領に就任して以来、西側の結びつきを強化することと、隣国ロシアとの市民的共存を維持することとの間で微妙なバランスをとってきた。EU に加盟するために、政府はあらゆることを飛び越えてきましたブリュッセルで義務付けられたフープは、記載されているすべてのメンバーシップ条件を満たし、2023 年 12 月に正式に候補者の地位を付与されました。しかし、2022 年 2 月以降、これはかつてないほどの厄介なダンスとなり、モスクワとモスクワに制裁を課すという外部からの圧力がかかりました。武器を送る絶え間なく台頭するウクライナに。



トビリシ事務所 NATO と EU に関する情報センター NATO が後援するイニシアチブで、その目標は「グルジアのヨーロッパとヨーロッパ-大西洋の統合プロセスに国民を関与させ、彼らの十分な情報に基づいた支持を得る」こと

だと述べています

ウエスタンとの厳格なコンプライアンス制裁体制そして、ロシア侵略に対する公の非難は、ブリュッセル、キエフ、ロンドン、ワシントンにとって明らかに不十分だ。2022年12月、ガリバシビリは、ウクライナ政府が繰り返し要求されるトビリシは、ロシアに対する代理戦争で「第二戦線」を開く。彼の拒否は断固たる非難を受け、その結果、グルジアン・ドリームはクレムリンの代理人となり、政権転覆作戦の正当な標的となった。

2023年とは異なり、政府は、欧米の非難とグルジアの首都の通りに殺到する暴力的な暴徒に直面して、「外国の影響の透明性」の強制を撤回することを拒否している。5月3日、コバヒゼ首相は激しい声明を発表し、2020年以降、トビリシで二度のクーデター未遂を画策したとして、アメリカを非難した。

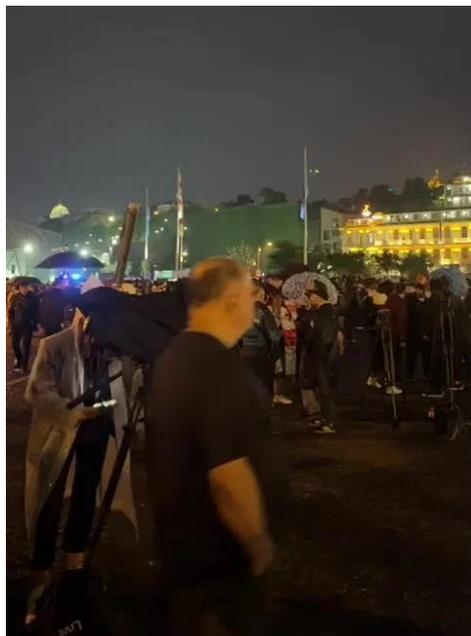
彼は、これらの取り組みは「外部資金源から資金提供を受けた NGO を通じて行われ」、昨年まで駐トビリシ・アメリカ大使だったケリー・C・デグナンの「虚偽の発言」に触発されたと主張した。コバヒゼは、グルジアの夢をクレムリンの傀儡だと非難する外交官に言及していた。これらの申し立ては「外国の資金提供を受けたアクターによる暴力の助長に役立った」と彼は主張した。進行中のデモに対する地元警察の対応に関するホワイトハウスの苦情に言及し、彼は皮肉を込めて「私は懸念を表明していない...学生に対する残忍な弾圧について」パレスチナ連帯の抗議者たちその2日前、ニューヨーク市で。

カラー革命劇場の形成

グルジアの長年の指導者で、元ソビエト外務大臣のエドゥアルド・シェワルナゼ水門を開いた外国から資金提供を受けた市民社会組織が、監視がほとんどないにもかかわらず、国内で活動することを許可することで、彼の国で足がかりを得ようとしている NGO にとって。当時、欧米の寵児だった彼は、この行為で、彼自身の政治的死刑執行令状に署名した。として削除済み USAID のウェブサイトの記事は、欧米が支援する NGO が「民主的でリベラルな価値観を促進する」ようになり、それが彼の政府を深刻に傷つけたと指摘した。

例えば、1999年には、米国の資金提供により、グルジア国民が情報公開法を策定し、支持を得ることができました。これは、政府が採用した法律です。この法律により、メディアや NGO は政府予算を調査し、腐敗した大臣を解任させ、政府を規制すべきだという感覚を人々に持たせることができました」と報告書は続けた。莫大な金額は、「弁護士、裁判官、ジャーナリスト、国会議員、NGO、政党指導者」のカラー革命の技術の訓練にも割り当てられた。

これが2003年のバラ革命につながり、シェワルナゼを打倒し、ミハイル・サアカシュヴィリを据えた。米国グルーミング個人的に政治家承認 by ビリオネア CIA のカットアウトジョージ・ソロス。削除された USAID の記事で引用されている反乱の参加者は、「外国の支援がなければ、私たちがしたことを達成できたかどうかはわかりません... USAID は市民社会を支援し、市民意識を持つ人々のネットワークを作り上げました。他の場所では、サアカシュヴィリの仲間が、ワシントンは「善良な人々が、悪く、腐敗した政府を打倒するのを助けた」と宣言した。



抗議行動のたびに外国メディアが出席しているにもかかわらず、親 EU のデモ参加者たちは皮肉にも、ギル・スコット・ヘロンの象徴的な「革命はテレビ放映されない」を流している。ラミ・ヤヒアによるビデオ。

外資系 NGO は、トビリシで非常に大きく有害な影響力を行使しており、「公共政策とサービスのほとんどの分野を長い間植民地化してきた」。5 月 2 日のエッセイ LeftEast による注目。これらの組織は「グルジアの政策改革の ToDo リストを作成し、その費用を負担する国際機関から権限を得ている」そして「自分たちが実施するプロジェクトの影響を考慮するインセンティブを欠いている。なぜなら、彼らは自分たちの生活の中でこれほど押しつけがましい役割を果たしている市民に対して説明責任を負っていないからだ」。

これは「グルジア市民の機関と国の主権と民主主義を侵食した」が、「外国の影響の透明性」法は実際にはこれらの問題に対処しないと著者らは主張している。それどころか、この法案は、サアカシュヴィリと彼の統一国民運動 (UNM) と連携する、潤沢な資金を持つ NGO の「小さいながらも強力な徒党」に対抗することに興味があり、彼らは「公然と党派的な政治に従事する」ことで、グルジアの夢を弱体化させようとしている。現在の一連の抗議行動に見られるように、この従者は、政府の追放を強く求めながら、野党を支えている。

グルジア軍団の戦犯がクーデターを計画

サアカシュヴィリ表向きはトビリシの刑務所からの UNM。グルジアを逃れ、オデッサの知事としてウクライナに居住しました。ペトロ・ポロシェンコの招待 2012 年に権力を失った後、マイダン政権後、2021 年 10 月に復帰した。到着するとすぐに、彼は政敵への暴力的な攻撃を命じ、彼の大臣の一人が隠蔽するのを助けたとして投獄されました。恐ろしい殺人彼らが個人的に監督しました。ズラビチヴィリ大統領誓約しました彼女は元リーダーを「決して」許さない。

最近の世論調査同党の国民支持率はわずか 9.6% で、グルジアの夢の 31.4% を大幅に下回っています。彼の人気は衰えているにもかかわらず、サアカシュヴィリの支持者たちは、彼を騙したり、詐欺師で、刑務所から追い出そうと決意しているように見える。2023 年 9 月グルジアの治安当局者は、「ユーロマイダン風のクーデター」が地元で準備されていると警告した。指名された陰謀者には、ウクライナ政府のために働いているグルジア人が含まれていた: キエフの軍事情報副長官、ギオルギ・ロ

ルトキパニゼ。ミハイル・バトゥーリン、サアカシュヴィリの元ボディガード。そしてママカ・ママラシヴィリ、悪名高いものの司令官グルジア軍団。



上:トビリシの親 EU デモ参加者がグルジア軍団の旗を掲げている。ラミ・ヤヒアによるビデオ。

ママラシビリは中央に関与している 2014 年 2 月、ウクライナのキエフで、偽旗狙撃兵によるマイダン抗議行動参加者の虐殺は、ヴィクトル・ヤヌコーヴィチ大統領を失脚させ、ロシアとの戦争に備えた民族主義政権を樹立する上で極めて重要だった。グルジア軍閥は、群衆に発砲して「混乱」を作り出すため、狙撃者をキエフに連れてきて、その目的のために武器を提供したようだ。今回、ウクライナとポーランドの国境近くで訓練を受けた反政府活動家が、キエフのマイダン広場に建てられたものとよく似た「テント都市」をトビリシに設立する予定だと、治安当局者は述べた。その後、偽旗爆弾が行われるでしょう現場では、大規模な暴力的な動乱を引き起こしました。

2023 年 10 月から 12 月にかけて計画されたとされるこの血なまぐさい陰謀は、実現しなかった。それにもかかわらず、警察は当時トビリシで活動していた CANVAS というアメリカ政府が支援するグループの活動家を発見した。示唆何か悪意あることが確かに進行していた。CANVAS は、2000 年にユーゴスラビアの指導者スロボダン・ミロシェビッチの打倒に尽力した NED が創設した反体制派青年グループ、オトポルから生まれた。その後、その活動家たちは、世界中で政権転覆工作員の訓練を始めたワシントンのダイムで。

CANVAS の専門知識の受領者の中には、次のようなものがありますクマラのメンバー、2003 年のバラ革命の最前線にある若者の抵抗運動は、Otpor、ロゴなどを直接モデルにしています。この出来事は、それ以来、グルジアの政治と社会を形作り、多くの市民の心に大きく立ちはだかり、その歴史的な意味合いは肯定的にも否定的にも見られています。野党のタク・チャルクヴィアーニ議員は、自分が何をしているのかを正確に知っていたに違いない。力強く約束されたトビリシの新色革命。

<https://thegrayzone.com/2024/05/26/us-eu-color-revolution-georgia/>

🕒 【ロシア・ウクライナ紛争】ウクライナ軍クルスクで後退、東部で包囲される(2024年9月12日)

今回はクルスク戦線、東部戦についての戦況とハンガリー、スロバキアの「油断」回避です。

9/6、米国防省のオースチン長官は、非情にもまだ終わりは見えない、もっとウクライナへの援助を増やすよう呼び掛けたといっています。

ドイツは、とうとう堪りかねたのでしょうか、シヨルツ首相は、ツェット・デー・エフ ZDF TV チャンネルとのインタビューで、ノルドストリームとノルドストリーム 2 ガスパイプラインの爆発は、調査されるべきであり、爆破した犯人は、裁判にかけられるべきだと述べました。

そしてロシアのペスコフ大統領報道官も「我々は、この事件を黙らせようとする一部の国のこの話に関連する必死の試みにもかかわらず、テロ行為、ノルドストリームに対する破壊工作を徹底的に調査すべきであることに完全に同意する」と彼は述べた。

つまり西側諸国の足並みの乱れの始まりでしょうか、米国防省のオースチン長官のウクライナ支援増加要請に対するノーなのかまだ分かりませんが、米国大統領選挙も迫っていますので西側諸国も今は英米の言うままに、うかつには動きたくないのかもしれませんが。

ポクロフスクの前には 4 つの防衛ラインがありますが、すでに 2 つは突破され、ロシア側は、3番目の防衛ラインに FAB1500 を使った効果が大きいと言っています。もともとアウデーフカ、オチェレンティーノから西方にはコンクリートの要塞は、ほとんどなく堅固な防衛ラインは存在しないと言われていました。9/10 にはセリドヴォの上のノヴォグロディフカがロシア軍の手に落ちたことが報じられました。そのため今ウクライナ軍は苦勞をしているのかもしれませんが。

<https://youtu.be/TJjhe0vwZ9I>



<https://www.youtube.com/watch?v=TJjhe0vwZ9I>

⑩特別軍事作戦 9月7日～13日の概要 露国防省(2024年9月13日)

ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する週報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ロシア軍は過去 1 週間で 18 集落を解放した(そのうち 10 集落はクルスク州)。

ウクライナ軍の過去 1 週間の人的損失は合わせて最大 1 万 6960 人。

ロシア軍は過去 1 週間でウクライナにある軍事関連施設に対して 39 回の集団攻撃を実施、軍産複合体や軍用飛行場、ウクライナ軍の滞在場所などを破壊した。



<https://sputniknews.jp/20240913/97913-19085157.html>

①ロシア外務省高官が日本側の要請で欧州局長と会談、岸田政権の敵対政策を指摘 (2024年9月14日)

ロシア外務省のポロビヨワ・アジア第3局長は9月13日、日本外務省の北川欧州局長による要請に応じて面会した。

ロシア側からは、岸田政権の近視眼的な敵対政策の結果、前例のない低水準にまで落ち込んだ二国間関係の現状と見通しについて、原則的評価が示された。日本の非友好的な措置に対し、自国の国益のみを指針とし、可能な限り厳しく、かつ敏感な対抗措置で対応し続けることが強調された。

一方の日本側は、ロシアによる軍事作戦を明確な国際法違反と指摘し、その影響で関係も厳しい状況にあるとして即時停止を改めて求めた。

また、実施が見送られているクリル諸島(日本では北方領土)の元島民らによる墓参や、日本の漁船によるクリル諸島周辺海域での「安全操業」を早期に再開するよう強く要請した。



<https://sputniknews.jp/20240914/19089443.html>